

1. 指定管理者名	社会福祉法人 前畑育英会
2. 指定期間	平成27年4月1日 ～ 平成32年3月31日
3. 業務の範囲	(1)保育の実施に関すること(通常保育・延長保育・障がい児保育・一時保育事業) (2)施設及び設備の維持管理に関すること

4. 採点表									
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	—	—				
			②利用人数	—	—				
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)		40	保育の内容・質等が期待以上:40～32点、保育の内容・質等が例年通り:31～24点、保育の内容・質等が例年よりやや劣る:23～19点、保育の内容・質等が例年より劣る:18～8点、保育の内容・質等が例年よりかなり劣る:7～0点	(1)保育の実地に関すること ①在籍131人(広域1名私的3名含む)うち支援の必要とする子 29名 ②11時間を超える延長保育 120名 ③土曜日保育年間延べ 1,007名 ④一時預かり 11名及び休日保育の手続き (2)保育内容に関すること ①専門分野別リーダーを定め、チームの組織化及び強化を図ると共に、責任とリーダーの育ちに繋げる(職員配置を含む) 総括主任＝季節感を感じる生活と遊びを通して、年齢別の発達を捉え、ねらいを持った取り組みの実践。 特別保育主任＝支援コーディネーターとして就学に向け円滑な保護者支援及び支援保育士の資質向上に向けた取り組み。 乳児主任＝小グループによる保育のあり方の実践。 幼児主任＝年齢ごとの活動交流及びつながり活動の取り組み。 子育て支援リーダー＝園庭開放の回数を増やし、同年齢の幼児や保護者の交流の場及び子育て相談などの取り組み。 保育実践・研修リーダー・市保育研究会及び園内研修エピソード記録事例研究による職員の資質向上に向けた取り組み。 食育リーダー＝あさひっこ農園の取り組み及び収穫後の食育。バイキング給食にちなんだ取り組み。 健康保健リーダー＝いきいき遊び、いきいき運動の取り組み及び幼研での実践内容を職員に広め実践する。 (3)その他管理運営に関すること ①給食の実施は、子ども支援課栄養士の指導管理のもと、給食を提供。また、アレルギー対応(7名)についても個別面談を行い、安全に安心して提供できるように努めている。 ②職員研修は、主任・中堅・初任者研修・各1名 全国私立保育園研究大会in京都1名 岐阜県保育研究大会7名 岐阜県幼児教育保育セミナー1名 フレーベル館講習会1名 東農ブロック研修会8名 保育指針改定伝達会8名 施設見学5園5名 防火管理者講習会1名等職員の資質向上に努めた。園内研修では、エピソード記録から、保育士の思い、子どものとらえ方や、手立ての方法等話し合うことで、保育の質の向上につながるものとなった。 ③運営懇談会の開催は、3回行った。 ④苦情等の解決については、年度当初に窓口を保護者に周知。市への苦情申し立てはなかった。 ⑤防災計画を作成し、月1回の防犯訓練と防災訓練を実施。消防署立会2回 たんぽぽ班による指導を受ける。 ⑥園児の健康管理は、嘱託医師を設置し、年2回の健康診断を実施。 ⑦年度当初に保育施設及び運営に関する事項は説明し同意書の回収を行う。 (4)その他 ①保護者との連携＝クラス懇談年2回 個別懇談年1回、相談は随時。給食試食会年1回。保護者会主催のお手伝い年1回。随時 クラスだよりによりクラスの様子を知らせた。 ②保護者会との連携＝行事に関わる全面協力(お化け大会・運動会・交通指導実施・人形劇鑑賞)駐車場に関わる整備と見守り。 ③保育体験の受入れ＝中学校職場体験(北陵中2年12名2日)中学家庭科授業(北陵中3年クラス毎5日)大学生保育実習6名 積極的に受け入れることで後進の育成に努めた。 ④小学校との連携＝子どもたちが楽しみを持って就学できるよう、学校との交流会を持ち学校の様子を知る。就学時に子どもたちの様子を見に来ていただくとともに、情報提供をしてスムーズに学校に就学できるように努めた。園は、毎日保護者と顔を合わせることができ、兄弟で通っている子についての情報などは、必要に応じて伝えた。 ⑤世代間交流＝年4回養護老人ホームを訪問し、高齢者との交流を実施。 ⑥地域との交流＝明和幼稚園との交流年3回 ⑦児童センターの事業受入れ。未就園児の親子の園見学や遊び場の提供、子育て相談会。キキョウスタッフ(小学生)の受入れ。 ⑧園庭開放 年9回と昨年より増やし、遊び場の提供だけでなく、子どもの育ちや子育て支援に繋がる懇談できる時間を大切にした。 ⑨あさひっこ農園を活用し、野菜の栽培を通し、成長の喜び、発見の楽しさ、また、クッキングにつなげ、食への関心を高めた。 ⑩いきいき運動・いきいき遊びは、年間計画のもと、活動の合間の時間を有効に使い取り組んだ。また、異年齢の交流をするなど、手本になる姿、あこがれの姿を持ったり、やさしく関わったりする姿などお互いの学びの場となった。	期待以上 40～32点	低年齢児の受け入れは、年を通してほぼ定員一杯となっている。 延長保育は、保護者の希望に応じて受け入れができるよう職員対応をしている。公立保育園の共通した取組として、「習慣向上プロジェクトたじみプラン」や「子どもの健康・体力づくりたじみプラン」に沿った事業を積極的に実施している。 地域交流活動にも積極的に取り組んでいる。 分野別リーダーを定め体系化することにより、組織の強化を図り、保育の質の向上に努めている。	38点

		(3)自主事業の企画・運営・実施		—	—				
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	保育室、調理室及ぶトイレ等の施設清掃 日1回以上 ガラスの清掃 年3回 エアコンの清掃 フィルター月1回 業者1回 給食室の換気扇の清掃 年2回 業者1回 給食室グリストラップの清掃 月1回 業者年1回 植栽及び園庭の清掃管理(除草、枝払い) 除草は随時 枝払いは業者年1回 施設周辺の清掃 随時	適正(普通) 2点	適切に実施されている。	10点
			②保守・点検			備品の点検 年1回実施 遊具の点検 目視 月1回以上実施 非破壊安全点検 年2回実施(業者) 定期保守点検 年2回実施(業者) 砂場の砂補充 随時実施 法定点検業務 非常通報装置保守点検 巡回保守年2回実施 一般電気工作物保守管理 通常点検 月1回以上実施 精密点検 年1回以上実施(業者) 消防用設備等の保守点検 総合点検 年1回実施 機器点検 年1回実施 給食室の水質検査 1日2回実施 プールの簡易水質検査(使用時) 1日2回以上実施 全従業員の腸内細菌検査 月2回実施	適正(普通) 2点	適切に実施されている。	
			③保安・警備			設置された防犯カメラの稼働状況を毎日確認するとともに、常時監視を行っている。 駐車場については、職員は旭ヶ丘駐車管理委員会から賃借。 園児送迎用駐車場は公民館、行事等の駐車場は、北栄消防団駐車場を利用。 月2回は、保護者会と協力して公民館の駐車場に立ち安全啓発を促している。行事の時も整備にあたっている。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。	
			④小規模修繕			ぶどう組扇風機 10800円 プール遮光ネット 39960円 築山 78840円 給食室スチコン 61236円 殺菌灯11275円 マ ルゼン厨房器具 160567円 給食室トイレ 43092円 給食休憩室クロス 88560円 など	適正(普通) 2点	適切に実施されている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・毎月園舎内外の安全点検を行っている。 ・必要に応じ市へ連絡、対応について協議している。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。	
			(2)その他管理業務の実施状況(15点)			①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	
		②環境への配慮		・資源回収を年10回実施し、資源化に努めている。 ・実のなる樹、常緑樹、花などを植栽。夏は、緑のカーテンづくりをしている。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。			
		③バリアフリー		・門から園庭までやや勾配があり、園庭から教室には、段差があるが、職員がフォローすることにより、車いすの出入りは可能な状態である。 ・統合保育による保育を実施し、ハード面のフォローは職員で対応することとしている。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。			
		④備品管理		・備品台帳は子ども支援課で保管 ・年1回の台帳整備、毎月1回の教材等棚卸を実施。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。			
		⑤個人情報保護		・個人情報、鍵のかかるキャビネットに保管し、個人情報の破棄はシュレッダー処理を徹底。 ・プライバシーポリシー、個人情報保護法の遵守については、職員会や朝礼などで繰り返し周知している。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。			
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・スポーツ振興センター 1件 テラスで転び歯を打つ。その時の状況と怪我の状態を説明し、様子を見ていただく話をした。 その後、歯科で診てもらい大人の歯が控えているということで抜歯してもらったと報告を受ける。	事故なし・対応に不備なし 0点	対応等に不備なし	0点
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	・収入110,324,314÷103,072,362＝1.070… 107%	105%未満～100% 4点	適切な収支状況である。	5点	

4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・地域交流を深め、オープンな園運営を目指す。 ・保護者会と連携して、保護者の意向や思いの把握に努める。(アンケート実施) ・個別懇談時に、園への要望等を聞き何かあれば、職員、保護者会と話し合う。 ・運営懇談会等の意見交換から把握したニーズについて、事業への反映を協議し対応する。	期待以上 8点	保護者とも連携協力体制を築きながら、保護者ニーズの把握と事業への反映に努めている。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	・第三者委員申し立てに至るような苦情なし。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情なし	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・園として、他機関(子ども相談センター・子ども支援課子育て支援G、小学校等)との連携に努め、園を介在として保護者につなぎ、保護者の同意を得るようにしている。 ・送迎時には、積極的に保護者に声をかけ、親さんがホッと一息できるよう心がけ、同時に子育てや、家庭での悩み等の相談に対応している。 ・家庭親支援では、家庭訪問 子どもの迎え 夕方の子ども保護(親がいない・子どもがいなくなった)等対応した。 ・駐車場の問題については、保護者会の協力のもと、公民館に迷惑をかけないように心掛け、親さんにお手紙などで繰り返し注意事項の徹底を図った。	期待以上 15点	子ども支援課や関係各機関、地域住民等と連携しながら、児童のみならず親支援の必要な家庭に対して、保育園外においてもきめ細かな支援をしている。	14点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	・市から依頼された提出書類については、期日までに提出。	遅れ・不備なし 減点なし	適切に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	・市からの指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適切に実施されている。	0点	
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下						合計89点
									全体的な評価 分野別リーダーを定め体系化することにより、組織の強化を図り、保育の質の維持向上に繋げている。また、保護者からの意見聴取、保護者会との連携、正規職員や支援担当職員の配置や資質向上につながる研修等の継続的实施にも配慮されている。 ひとり親家庭や支援の必要な家庭も多いが、保育園外における親支援まで、きめ細かな対応がなされている。 市の重点施策である「習慣向上プロジェクトたじみプラン」や「子どもの健康・体力づくりたじみプラン」に沿った事業を積極的に実施しており、評価が高い。